



TITLE:

外尿道口から脱出した尿管ポリープの1例

AUTHOR(S):

安保, 隆文; 石塚, 榮一; 岩崎, 皓; 千葉, 喜美男

CITATION:

安保, 隆文 ...[et al]. 外尿道口から脱出した尿管ポリープの1例. 泌尿器科紀要 1994, 40(4): 341-343

ISSUE DATE:

1994-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/115242>

RIGHT:

外尿道口から脱出した尿管ポリープの1例

横浜赤十字病院泌尿器科 (部長: 石塚榮一)

安保 隆文, 石塚 榮一, 岩崎 皓, 千葉喜美男

URETERAL POLYP PROLAPSING FROM THE EXTERNAL URETHRAL MEATUS: REPORT OF A CASE

Takafumi Ambo, Eiichi Ishizuka,

Akira Iwasaki and Kimio Chiba

From the Department of Urology, Yokohama Red Cross Hospital

We herein report a case of a ureteral polyp treated with transurethral resection (TUR) in a 41-year-old female with the chief complaint of urethral tumor.

Cystoscopic findings revealed the tumor originating from the right ureteral orifice. However, intravenous pyelography showed no abnormalities. We resected the tumor transurethrally and the histological diagnosis was ureteral polyp. The postoperative course was uneventful without any signs of vesico-ureteral reflux or recurrence of the polyp.

This is the first case of ureteral polyp prolapsing from the external urethral meatus in the Japanese literature.

(Acta Urol. Jpn. 40: 341-343, 1994)

Key words: Ureteral polyp, Urethral tumor, Transurethral resection, Prolapse from the external urethral meatus

緒 言

尿管ポリープは比較的多数の報告があるが, 今回われわれは, 外尿道口から脱出した尿管ポリープを経尿道的に摘出した1例を経験したので報告する。

症 例

患者: 41歳, 女性

主訴: 尿道腫瘍

家族歴・既往歴: 特記すべきことなし

現病歴: 1993年4月10日外尿道口に突出した腫瘍を自覚し, 当科受診。膀胱鏡で腫瘍は右尿管口に連なっていると推定された。同年6月17日尿道口より脱出した尿管ポリープの疑いに精査治療目的で入院となった。

入院時現症: 外陰部所見は軽度発赤を伴い表面平滑な赤褐色小指頭大の腫瘍が外尿道口から突出しているのを認めた (Fig. 1)。

入院時検査所見・血液生化学検査; 特に異常を認めず, 尿所見; 蛋白 (-), 糖 (-), RBC 多数/hpf, WBC 5~7/hpf, 尿細胞診; class I。

X線学的検査: KUB では結石陰影を認めず, 静脈

性腎盂造影 (IVP) では両側尿管に拡張もなく造影剤の流れも良好で, 膀胱部にも明らかな陰影欠損像を認めなかった。

入院後経過: 1993年6月18日腰椎麻酔下に膀胱鏡を施行した。右尿管口より約1cm上方までの腫瘍によるものと考えられる粘膜の膨隆を認め右尿管口の中から, 表面平滑な腫瘍が外尿道口へ連続しているのを認めた。

右尿管ポリープの尿道外脱出と診断し, ただちに経尿道的尿管ポリープ摘除術を施行した。

手術所見: 切除鏡を経尿道的に膀胱内に挿入しナイフを用いて右尿管口上部約1cmまで切開を入れ, 壁内尿管を開き腫瘍の根部を確認できたのでループを用いて切除摘出した。

摘出標本: 全長約5cm, 直径約1cmで赤褐色表面平滑であった (Fig. 2)。

病理組織学的所見・上皮にやや過形成を伴い, 不規則な索状配列を有しているポリープであったが悪性像は認めなかった (Fig. 3)。

術後経過は良好で IVP で水腎症を認めず, 膀胱造影でも膀胱尿管逆流を認めなかった。またポリープの再発も認めていない。



Fig. 1. Urethral polyp prolapsing from the external urethral meatus.

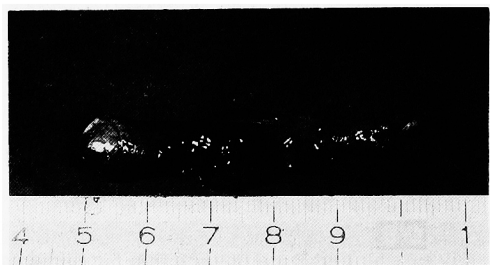


Fig. 2. Surgical specimen of the ureteral polyp.

考 察

尿管ポリープは、本邦では1949年中野¹⁾が第1例を報告して以来現在までに本邦では150例以上の報告があるとされている²⁾。尿管ポリープのうちでその長さが5 cm以上のものが長大な尿管ポリープと称され³⁾、

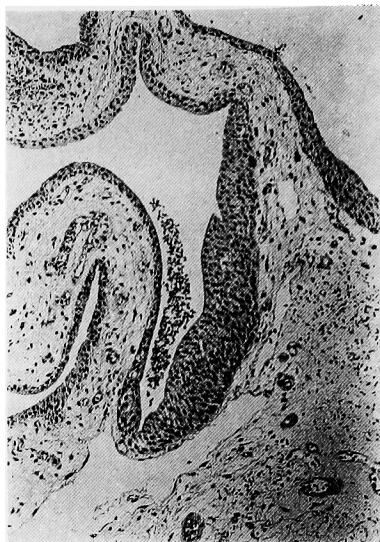


Fig. 3. Microscopical findings showed a ureteral polyp with epithelial hyperplasia.

自験例もこれにあたる。発生部位は、男性で左側上部尿管に多く、女性では左右差なく中下部尿管に多いとされている²⁾。自験例も発生頻度の多い下部尿管であった。また、下部尿管ポリープが外尿道口まで達した症例はわれわれが文献上検索したかぎりでは認められず、自験例が本邦第1例である。

尿管ポリープは術前診断で悪性、良性の鑑別がつかず、そのために腎尿管摘出術を施行される例が多い⁴⁾。自験例のように経尿道的尿管ポリープ切除症例は稀で自験例を含めて7例が報告されているにすぎない (Table 1)⁴⁻⁷⁾。

最近尿管ポリープに対して尿管鏡を用いた内視鏡的診断や治療も行われている⁸⁻¹²⁾。尿管ポリープが疑われたならば腎温存の観点からも非侵襲的治療法として今後内視鏡による診断治療を積極的に行うべきであろう。その病理結果を検討した後、必要ならば二次的に開腹手術をすべきではなかろうか。

Table 1. Seven cases of ureteral polyp treated with TUR

症 例	年 齢	性 別	主 訴	ポリープ径	病 理 診 断
大 沢 ('79)	不明	不明	不 明	不 明	不 明
大 沢 ('79)	不明	不明	不 明	不 明	不 明
大 沢 ('79)	不明	不明	不 明	不 明	不 明
寺 井 ('89)	37	男	右下腹部痛*	2 cm	線維上皮性ポリープ
田 代 ('90)	18	男	不 明	3 cm 以上	線維上皮性ポリープ
梶 ('91)	40	女	肉眼的血尿	約 8-9 cm	線維上皮性ポリープ
自験例 ('93)	41	女	尿道腫瘍	約 5 cm	尿管ポリープ

* 右尿管結石合併

自験例はポリープの根部を確認し摘出できたが, 同一尿管にポリープと悪性腫瘍を合併した症例¹³⁾や尿管ポリープに悪性腫瘍を合併した症例¹⁴⁾もあり, 今後充分な経過観察が必要と考えている。

結 語

経尿道的に治療した外尿道口に突出した尿管ポリープの1例を経験したので若干の文献的考察を加え報告した。

文 献

- 1) 中野 巖: 輸尿管ポリープの1例. 体性 **26**: 518-523, 1949
- 2) 高村真一, 鈴木靖夫, 坂田孝雄, ほか: 長大な尿管ポリープの2例と本邦46例の検討. 泌尿紀要 **35**: 323-328, 1989
- 3) 近藤捷嘉: 長大な尿管ポリープの1例. 西日泌尿 **39**: 668-671, 1977
- 4) 大沢哲雄, 青島茂雄, 武田正雄: 尿管ポリープの2例. 西日泌尿 **41**: 147-151, 1979
- 5) 寺井章人, 寺地敏郎, 吉田隆三: 尿管ポリープの膀胱内脱出を伴った巨大尿管結石の1例. 泌尿紀要 **35**: 871-873, 1989
- 6) 田代和也, 望月 篤, 中内憲二, ほか: 腎盂尿管

腫瘍性病変の内視鏡的切除. 臨泌 **44**: 696-699, 1990

- 7) 榎知果夫, 岡田克彦, 三田憲明, ほか: 長大な尿管ポリープの1例. 広島医学 **44**: 198-200, 1991
- 8) 岡田克彦, 角井 徹, 藤井元広: 長大な尿管ポリープの1例. 西日泌尿 **49**: 851-853, 1987
- 9) 長谷川倫男, 鳥居伸一郎, 望月 篤, ほか: 尿管鏡で診断した尿管ポリープ. 臨泌 **42**: 157-159, 1988
- 10) Robert RB, Michael DB and Michael FC: Fibroepithelial polyps of the ureter. J Urol **132**: 343-344, 1984
- 11) 西 光雄, 西村元一: 尿管ポリープ2例の内視鏡的治療. 日泌尿会誌 **81**: 1592, 1990
- 12) 岡本雅之, 稲葉洋子, 原田益善: 内視鏡的に治療した多発性尿管ポリープの1例. 泌尿紀要 **39**: 739-741, 1993
- 13) 友吉唯夫, 朴 勺: 同一尿管におけるポリープと移行上皮癌の合併. 西日泌尿 **42**: 1193-1197, 1980
- 14) 崎山 仁, 鍋倉康文, 山本敏廣, ほか: 長大な尿管ポリープの2例. 西日泌尿 **46**: 1121-1123, 1984

(Received on October 25, 1993)
(Accepted on November 29, 1993)